

2016年度 日本アーカイブズ学会総会議事録

【開催状況】

日時 2016年4月23日(土) 13:00~14:40

場所 東京外国語大学本部管理棟大会議室

総会に先立って、2016年3月8日に逝去された石原一則会長に1分間の黙祷が捧げられた。

【進行および議事】

1 開会宣言(青木祐一委員、以下司会をつとめる)

2 会長代行挨拶(早川和宏会長代行)

- 実際は「4 定足数の確認」の後に行われた。

3 議長選出

- 議長立候補者なし。
- 司会が太田富康氏を議長に推薦した。これが承認され、太田氏が議長に指名された。以下の議事は議長のもと行われた。

4 定足数の確認

- 定足数確認 47名(正会員465名の10分の1以上)
定足数を満たしていることを確認した(出席正会員49名、委任状提出正会員105人)。
議長が総会の成立を宣言した。
- 書記選出
議長が阿久津美紀・藤村涼子両会員を書記に指名した。

5 議事

(1) 2015年度事業報告(案)(早川和宏会長代行)

(2) 2015年度決算(案)(早川和宏会長代行)

(3) 2015年度会計監査報告(佐藤勝巳監事)

- 上記(1)~(3)は、総会資料(資料1)・(資料2)・(資料3)により一括して報告された。

【質疑応答】

(質疑) 古賀崇氏

事業報告 3. (2) について。ICA ソウル大会参加助成に採択されたものの、大会発表申し込みが採択されず発表できないことになった。発表助成は次点の応募者 1 名を選ぶのか、あるいは別の person を選ぶのか。

また、助成申請の時期について、ICA 大会での発表が決定した者のみが助成を申し込めるようにしたらどうか。

決算について。積立金（学会推進基金）に利息が発生しているはずだが、決算報告に記載がない。現状について伺いたい。

（応答）早川和宏会長代行

ICA 大会で発表してほしい方を 2 名採択したが、残念ながら 2 名とも発表できないことになってしまった。採択されなかった 2 名を補欠として採択することはしない。

大会発表にチャレンジする人の背中を押す意味で、助成申請を発表決定前の時期にした。この時期でいいのではないかと考えている。

積立金について、350 万円が積み立てられているが、利子については現在手元に資料がないためわからない。学会法人化のための積立金であり、用途は立ってきたと思う。

（応答）太田富康議長

来年度、利子について決算報告に含めることを検討されたい。

（質疑）毛塚万里氏

会員数に比べて会費納入額が少ないのではないか。

（応答）早川和宏会長代行

291 名が納入済み。督促しているが納入率はよくない。

かつては大会開催時に徴収していたが煩雑なため、石原会長の時に振込方式にした。従来、未納入の会員にも会誌が届く事例もあったが、今後は厳格化し、会誌の発送を保留することにした。今後も督促を進めていく。

（質疑）菅真城氏

どれだけの期間滞納すると、会員資格停止、会誌発送停止となるのか。

（応答）早川和宏会長代行

会則第 5 条（2015 年 4 月 25 日改正後のもの）により、会費を通知された時期までに 2 回、つまり 2 年度払わなければ会員資格停止になる。また、会費を払っ

ていない正会員には、昨年度から学会誌を発送していない。なお、総会資料では第5条が改正前のままになっている。総会資料に同封した訂正表を参照されたい。

- 拍手をもって承認された。

(4) 会則改正（早川和宏会長代行）

総会資料（資料4）により提案された。以下の補足説明があった。

2017年3月1日より施行することにした。今年度は11か月会計になり、来年度より12か月会計になる。

- 拍手をもって承認された。

(5) 2016年度事業計画（案）（早川和宏会長代行）

(6) 2016年度予算（案）（早川和宏会長代行）

- 上記（5）～（6）は、総会資料（資料5）・（資料6）により一括して提案された。

（5）につき、以下の補足説明があった。

学会法人化に向けて引き続き検討していくが、法人化に踏み切れるだけの積立金は十分にあると考えている。

（6）につき、以下の補足説明があった。

収入について。2014年度は会費の未納分回収に努めたため収入が大幅に増えたが、2015年度は通常に戻っており、今年度もそれを踏襲した。大会参加費の減額は参加者数を堅めに見積もったためである。審査・登録料は3月に振り込まれるが、会則改正によりこれは翌年度の収入となるため、今年度は計上していない。

支出について。事務費は、アルバイトの方に委ねられる事務は委ねていきたいということで増額。会議費は、大会開催にかかる費用が増えると考えて増額している。印刷製本費は、会誌の頁数が多いことが続いたが、今後減らしていく予定のため減額。委託料は、外部委託をできるだけ削減していく方針のため減額する。旅費・交通費は、研究集会を首都圏以外で開催する可能性があり、多めに計上している。会費（関係機関協力費）は、前年度決算をもとに算出。事務所賃料は、会則改正にともない2月末までの11か月分を計上した。積立金は、法人化の資金としては既に十分であると判断し、今年度は積み立てない。研究助成は、前年度と今年度の出版助成、及び今年度のICAソウル大会発表助成の額も含んでいる。昨年度までは積極予算だったが、今年度は支出減に努めて、予備費に回していきたい。

【質疑応答】

（質疑）古賀崇氏

学会誌の電子化（オープンアクセス）について、どのように考えているのか。

（応答） 富善一敏委員

第 5 号くらいから PDF ファイルを保存しているが、まずは在庫がなくなったものから電子化を検討していきたい。

（応答） 早川和宏会長代行

著作権処理の問題が今後の検討課題となっている。

（質疑） 菅真城氏

昨年度の総会でも同じ質問をした。学会のウェブサイトで公開し、J-STAGEにも登録するなど進めていってほしい。

● 拍手をもって承認された。

(7) 2015 年度認定登録アーキビスト（早川和宏会長代行）

● 総会資料（資料 7）により報告された。

【質疑応答】

（質疑） 岡悦郎氏

登録アーキビストの事業年度はどうなっているのか。

（応答） 早川和宏会長代行

登録証の発行は年度内だが、認定期間の始期は翌年度の 4 月 1 日なので、審査・認定の事業年度とは年度がずれることになる。

(8) 役員改選

● 役員選出規程に基づく経緯が報告され、その結果として総会資料（資料 8）の役員改選案が提案された。

● 拍手をもって承認された。各役員からの自己紹介があった。

(9) その他

● 会則第 14 条第 1 項（4）による会員からの提出議案がないことが確認された。そのうえで、議事としてではなく、今後の会務運営に資する意味で、何か発言があれば求める旨を議長から促した。

(質疑) 古賀崇氏

アーカイブズ関係機関協議会の現状はどうなっているか。

(応答) 早川和宏会長代行

現在は記録管理学会が幹事。各団体の活動内容を報告している。

国立公文書館から提案があり、近々に次回の協議会を開催する予定である。

(10) 議事の終了

- 議長が、すべての議事の終了を宣言した。

6 閉会宣言 (司会)

太田富康